

「海を照らす灯台のなかまたち」



<はじめに>

今回、新たな企画として、宇和島海上保安部管内に所在する航路標識について紹介することとなり、その第一弾として、西予市在住の元郵便局員「宇都宮さん」が、「日本郵政グループ労働組合南予支部退職者の会南予北分会」の情報誌「大八車」に令和元年11月から令和3年10月まで掲載された投稿文「海を照らす灯台のなかまたち」を少し編集し、投稿者ご本人の了承を得て、皆さんに紹介させて頂くこととなりました。

この投稿文については、投稿者が様々な文献をもとに、灯台のことだけでなく、その歴史的背景や灯台等が所在する土地の謂れなどが記載されており、我々職員でも知らなかった内容が含まれていることから、皆さんにも興味を持って読んで頂けるものと思います。

なお、この投稿文に記載されている航路標識が所在する場所や経路については、危険な場所もあることから、訪れる際は、事前に宇和島海上保安部交通課（TEL0895-22-1933）にて確認するようお願いします。

最後に、今回の企画に快く協力して頂いた「宇都宮さん」に対し、重ねてお礼申し上げます。（編集者より）

これから紹介していく航路標識については、以下のとおりです。



- ①佐田岬灯台
- ②見舞埼灯台
- ③三机須賀防波堤灯台
- ④襖鼻灯台
- ⑤佐田岬港第一防波堤灯台
- ⑥伊予三崎港三崎港第一防波堤灯台
- ⑦伊予三崎港井野浦第一防波堤灯台
- ⑧庄司太郎礮灯浮標
- ⑨女子鼻灯台
- ⑩室ノ鼻灯台
- ⑪櫛生港西一文字防波堤北灯台
- ⑫長浜港北防波堤灯台
- ⑬長浜港東防波堤灯台
- ⑭伊予青島灯台
- ⑮佐島灯台
- ⑯八幡浜長早防波堤南灯台

⑰ゼク岩灯標、⑱二及碁石消波堤灯台、⑲三瓶高島灯台、⑳大崎鼻灯台、㉑伊予水越島灯台

注)「⑬長浜港東防波堤灯台」については、2020年に廃止しています。

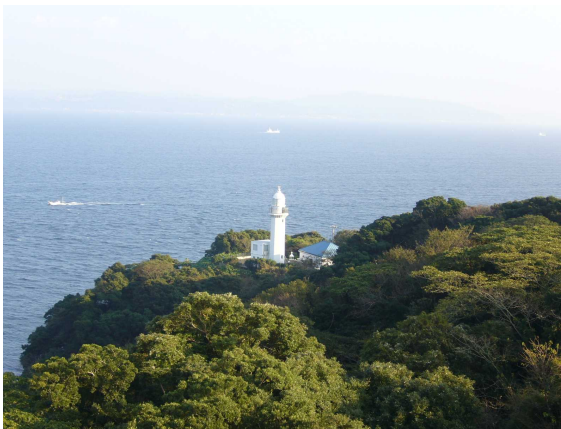
『それでは、「灯台のなかまたち」について、紹介しますので、お楽しみください。』



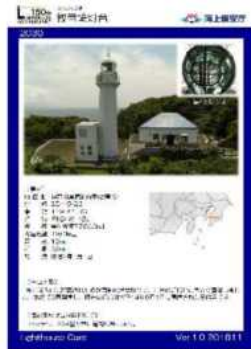
海を照らす灯台のなかまたち（1）

海上保安庁では、我が国初の洋式灯台である「観音埼灯台（神奈川県横須賀市）」が、1868年（明治元年）11月1日に起工されてから150周年の節目の年である平成30年11月1日の灯台記念日に「灯台150周年記念式典」が挙行され、記念誌「海を照らして150年」も発行されています。平成30年9月には「灯台150周年記念」の特殊切手も発行されました。

<観音埼灯台>



150th
LIGHTHOUSE
ANNIVERSARY



灯台カード



特殊切手「灯台150周年」

灯台の始まりは、岬や島の上に石などで塔を建てて焚火(たきび)や煙を上げることで、船舶の指標としたことからだと言われていま
す。

皆さんは灯台というと、どのような形をイメージされますか。丸
い円筒形、長四角形などを想像されると思いますが、近年、灯台を整
備するに当たって、地方公共団体等から、地域の歴史伝・伝統・文化
の特色を捉えたシンボルの付与やモニュメント化して欲しいとの要
望に応え、海上保安庁では、地域の環境との調和及び港湾・漁港整備
との調和を図ることが、良好な景観形成の一助となると考え、地方
公共団体が整備した展望台やデザイン化施設等に、海上保安庁が灯
台機能を付加したものが出来ています。

現在、全国に42基のデザイン灯台が点在しているそうです。皆さ
ん時間がありましたら、旅の途中に是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか。
しょうか。

<主なデザイン灯台>





今、若い女性に灯台も人気があるようです。登って観光できる灯台も全国に16基あります。数年前の交流旅行で行った山口県下関市の角島灯台を思い出しました。

<角島灯台>



南予北分会（日本郵政グループ労働組合南予支部退職者の会南予北分会）の海岸沿いの長浜町（現：大洲市）から伊方町佐田岬半島、八幡浜市、明浜町（現：西予市）までの範囲の中でも30基の「灯台のなかまたち」が活躍しています。来月からは、これらの「灯台のなかま」を紹介してみたいと思っています。

★「大八車」No.214（令和元年年11月10日発行）掲載分